

西武地区 中学校統合に対するご意見と対応方向について

西武中学校と野田中学校の統合に対しては、非常に多くのご意見をいただきました。

そこで、主なご意見、計画の概要と根拠については、パブリックコメントの意見一覧とは別に、まとめてご説明することといたしました。

主なご意見、計画の概要と根拠については、以下の通りです。

【主なご意見】

- 統合の時期が4年後では早すぎる。
- 統合の際は、校舎の耐用年数が残っており、生徒数も多い野田中学校に統合するべきである。
- どちらの中学校に統合する場合でも、通学路の安全確保が確立されないと認められない。
- 仏子地区と野田・新光地区は入間川を挟んでおり、距離も遠くて児童・生徒の負担も大きくなるので、両地区に小中一貫校が整備できないのか。
- 野田中学校は、比較的新しく、防災面や交通環境面でも安全性が高いので、優位性がある。
- 西武中学校は、土砂災害警戒区域に近く、通学路が狭くて、安全面での問題が多い。また、耐用年数も少なく、建替えに費用がかかるので優位性が低いのではないか。

【計画の概要】

- 西武中学校と野田中学校の統合は、原案でお示した2022年度から、第2期のはじめに延期しました。
- 統合する場所は、原案でお示した通り、西武中学校といたします。
- 2019年度から、地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について、協議を行うこととしました。

【計画の根拠】

- 統合の時期については、地域の方々と協議を行い、通学上の安全確保や防災・防犯等の課題の解決策について共通認識を図りながら統合するために、第2期のはじめに延期することとしました。
- 統合の場所については、より広範囲に通学エリアが確保できること、仏子地区と野田・新光地区にバランスよく学校が配置でき、防災上も両地区に大規模な避難所が確保できること、より拡張性が考えられるのは西武中学校であること、などを理由として西武中学校に統合することとしました。
- 西武中学校を建替える際には、現校舎の一部を活用して授業ができる見込みがあるため、校舎の一部を解体し建替えて、統合の際に活用できる新校舎を建設することとしました。そうすることにより、防災面での安全性も確保できることとなると考えました。
- 小中一貫校（義務教育学校）については、児童・生徒数の減少に対する解決策にならないため、導入は考えておりません。